

本が好き！ 本で学び、読書の喜びを伝え合う心豊かな児童の育成

島根県 奥出雲町立布勢小学校

基本データ

所在地 仁多郡奥出雲町八代220
 児童生徒数 59人
 教職員数 16人
 蔵書数 約4,000冊
 年間貸出冊数 約6,500冊

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】読書啓発・指導

【活動のねらい】

- 児童の読書活動を支援し、読書の喜びや楽しさを味わわせることを通して、読書習慣を身に付けるとともに、言語感覚を磨き、豊かな人間性を育てる。
- 学校図書館を活用した学習を通じ読解力や情報活用能力を育てる。

取組・活動の概要

(1) 読書活動の充実

- 児童が名付けた「ドリーム図書館」を中心に、以下のような活動を行っている。
- ①朝の読書タイムの充実（全校一斉読書、ボランティア・教職員等による読み聞かせ）
 - ②ボランティアによるストーリーテリング
 - ③司書教諭によるブックトーク（毎月24日「ふぼちゃんデー」（図書館キャラクターの名前より））
 - ④わくわく情報委員会の児童が計画する学期1回のドリームフェスティバル（読書郵便、本選挙、お話バイキング、なかよし読書等）
 - ⑤月1回のファミリー読書
 - ⑥年1回、授業公開日時に親子読書の時間を設定



授業公開日に設定した親子読書の様子

(2) 「学校図書館活用学習年間指導計画」「情報リテラシー体系表」「読書指導体系表」に基づき、系統的・計画的な授業の実践研究

- 学校図書館を活用した学習を系統的、計画的に取り入れ、読解力や情報活用能力を身に付けるための授業を実践している。

(3) 一人一人に合わせた選書指導

- 少人数の学校規模のよさを生かして、一人一人の児童の読書傾向を把握し、司書教諭、学校司書が常に情報交換を行っている。本の貸借時に学校司書が声をかけ、その児童に合った本をすすめている。

取組・活動の工夫や特徴

【系統的・計画的な授業の実践研究】

- 全学年において、担任・司書教諭・学校司書の三者による授業を実践し、全職員でPDCAサイクルに基づき研究し、授業改善に努めている。
- また、学習に使った図書館資料のリスト作成、思考ツールや資料の整備、学習指導案や教材・児童作成物等の保存など学習に必要な資料を学校図書館で保管し、次年度へ生かすようにしている。



担任・司書教諭・学校司書による授業

【一人一人に合わせた選書指導】

- 学校図書館を活用した授業において使用する図書資料等も、一人一人のニーズに合った資料が用意できるよう、担任、司書教諭、学校司書の三者が情報交換をし、すべての児童が満足いく学習となるようにしている。



年間指導計画・体系表に基づく授業に向けての相談(担任・司書教諭・学校司書)

取組・活動の成果や今後の展望

- 「学校図書館活用学習年間指導計画」「情報リテラシー体系表」に基づき、各教科等において学校図書館を活用した授業の実践を重ねたことで、児童は調べ方、集めた情報の整理・選択・まとめの仕方等、情報活用能力が身に付いてきている。
- 「読書指導体系表」に基づき、低学年から計画的に読書指導を行うことで、本に親しみ進んで読書を楽しむ児童が育ってきている。特に集団読書の大切さを感じている。
- 授業の中で児童は友達と同じ本を読み、話し合い・伝え合いをすることで、幅広い種類の本と出会い、一人一人の読む力も育ってきている。
- 担任、司書教諭、学校司書の三者で連携して指導・支援にあたることできめ細やかな取組がなされている。
- 児童が読書に親しむ様々な時間や機会を設定したことで、「読書が好きである」と答える児童が全児童数の9割を超えている。

